

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ
 コード番号 9439 URL <http://mhgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐藤 文彦
 (氏名) 小林 繁之

TEL 03-5411-7222

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	416	△19.2	17	△45.2	19	△43.4	16	△31.8
26年6月期第1四半期	515	△4.8	31	294.8	34	334.6	24	682.9

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 16百万円 (△31.8%) 26年6月期第1四半期 24百万円 (685.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	1.52	—
26年6月期第1四半期	2.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年6月期第1四半期	1,430		712		49.8	63.89		
26年6月期	1,488		728		49.0	65.37		

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 712百万円 26年6月期 728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年6月期	—				
27年6月期(予想)		0.00	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,000	3.9	80	0.9	80	△2.9	70	17.7	6.30
通期	1,900	5.9	150	26.4	150	20.5	120	51.3	10.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	11,332,100 株	26年6月期	11,332,100 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	186,148 株	26年6月期	186,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	11,145,952 株	26年6月期1Q	11,146,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策により、大企業・中堅企業において企業収益は堅調に推移しておりますが、サービス業を担う中小企業においては引き続き厳しい状況が続いており、一部景況感の悪化も伝えられております。特に消費税増税と円安の影響により消費者物価は上昇傾向にある一方で、政府の意図するトリクルダウン効果は限定的であり、実質賃金が依然低下傾向にあることは、国内消費動向への大きな不安材料となっております。

当社グループが属する美容業界におきましても、消費税増税の影響は大きく、顧客の節約志向が強まり、来店サイクルが鈍化するなど客足にも影響が出ております。そのため当社グループにおきましても、客単価は維持しているものの来店客数が減少しているため既存店の営業成績は伸びず、新規出店も人材不足等により大きな伸びを期待できない状況にあります。また、平成27年度に予定されている消費税の再増税を控えて、引き続き厳しい環境に置かれることが予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、安易な安売り競争に走ることなく、従来通り優秀なスタッフを育成し、質の高いサービスを提供し続けることにより、顧客の支持を得て安定的に業績を維持しておりますが、一旦落ち込んだ来店客数の本格的な回復には至っておりません。そのため、当社グループの主力事業である直営サロン運営事業及びB Sサロン運営事業の国内部門におきましては、前年同期に比較して減収減益となりました。しかしながら、海外事業におきましては、F C展開への積極的な営業活動を行うとともに、新規事業におきましては、当社の創造性を活かしたブライダルサロンの展開、サロンPOSシステムの提供等に引き続き注力しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高416,945千円（前年同期比19.2%減）、営業利益17,296千円（前年同期比45.2%減）、経常利益19,642千円（前年同期比43.4%減）、四半期純利益16,929千円（前年同期比31.8%減）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するB Sサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン12店舗を展開しております。

なお、当第1四半期連結会計期間よりブライダルサロンであるモッズ・ヘア オン アンダーズ東京は直営サロン運営事業よりヘアメイク事業にセグメントを変更しております。また、準直営サロンであったモッズ・ヘア青葉台店は契約形態の変更によりB Sサロンへ転換いたしました。

直営サロン運営事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、240,140千円（前年同期比14.7%減）、セグメント利益は、438千円（前年同期比95.6%減）となりました。

(B Sサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、B Sサロンと呼んでおります。当第1四半期連結累計期間におきましては、国内では新規出店が1店舗（モッズ・ヘア十勝音更店）、準直営サロンからの転換が1店舗（モッズ・ヘア青葉台店）、海外におきましては台湾において1店舗（モッズ・ヘア中山店）を新規出店いたしました。その結果、当第1四半期会計期間末日現在において、国内72店舗、韓国23店舗、台湾5店舗の計100店舗となっております。

B Sサロン運営事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、128,782千円（前年同期比34.7%減）、セグメント利益は、65,587千円（前年同期比11.6%減）となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間3,000ページ以上を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。当社のヘアメイクチームの作品は「モッズ・ヘア」をブランディングするうえでクリエイションの柱であり、サロンスタイルなどのアイデアソースとしても重要な役割を担っております。

また、前連結会計年度より当社のヘアメイクチームのクオリティを一般顧客に提供することを目的にブライダル事業を展開しております。平成26年6月にオープンしたモッズ・ヘア オン アンダーズ東京は、当社グループが展開する初めてのブライダルサロンであります。一般の美容売上よりもブライダルに係る売上の割合が高いため、当第1四半期連結会計期間より直営サロン運営事業からヘアメイク事業へセグメントを変更しております。

モッズ・ヘア オン アンダーズ東京のオープンにより前年同期と比較して売上高は増加いたしました。しかしながら、開業間もないため、開業費及び固定費を回収できるまでには至っておらず、セグメント利益は減益となりましたが、第2四半期中に採算ベースに乗る見込みであります。

ヘアメイク事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、52,688千円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は、2,760千円（前年同期比20.5%減）となりました。

(美容室支援事業)

当社グループでは、国内85店舗を擁する「モッズ・ヘア」サロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化し、クレジット手数料軽減サービスを一般のサロンに提供する美容室支援事業などを行っております。

また、前連結会計年度より、美容室サロン経営に特化したPOS・経営分析システムの共同開発及び販売事業を行っております。現在のところ直営サロン及びBSサロンのみでの展開となっておりますが、今期中に一般のサロンに展開していく予定であります。なお、美容室支援事業は、前連結会計年度までその他のセグメントに含めておりましたが、業績も順調に拡大していることから、当第1四半期連結会計期間より独立したセグメントとして表示しております。

クレジット手数料軽減サービスの契約件数、取扱高は引き続き順調に伸びており、美容室支援事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、16,695千円（前年同期比43.3%増）、セグメント利益は、5,801千円（前年同期比74.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ57,688千円減少し、1,430,503千円となりました。主な要因としましては、現預金の減少46,084千円、未収入金の減少31,272千円などによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ41,207千円減少し、718,371千円となりました。主な要因としましては、未払金の減少34,960千円、未払法人税等の減少8,155千円などによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ16,480千円減少し、712,132千円となりました。主な要因としましては、四半期純利益16,929千円、配当金の支払33,437千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年8月15日付「平成26年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	357,249	311,165
売掛金	103,199	116,935
商品	56,528	53,902
未収入金	349,703	318,431
繰延税金資産	50,149	50,149
その他	62,097	58,560
貸倒引当金	△1,746	△2,048
流動資産合計	977,181	907,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	336,405	336,405
減価償却累計額	△196,564	△202,740
建物及び構築物(純額)	139,840	133,664
工具、器具及び備品	101,125	101,125
減価償却累計額	△76,258	△77,331
工具、器具及び備品(純額)	24,867	23,793
その他	1,162	21,721
減価償却累計額	△246	△263
その他(純額)	915	21,458
有形固定資産合計	165,623	178,916
無形固定資産		
のれん	975	731
その他	4,578	4,993
無形固定資産合計	5,554	5,725
投資その他の資産		
投資有価証券	5,994	6,023
関係会社株式	15,404	15,404
差入保証金	180,940	183,978
リース投資資産	106,815	103,559
繰延税金資産	2,425	2,425
その他	30,322	29,444
貸倒引当金	△2,070	△2,070
投資その他の資産合計	339,832	338,765
固定資産合計	511,010	523,406
資産合計	1,488,191	1,430,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,826	12,012
未払金	474,124	439,164
未払費用	46,425	50,512
未払法人税等	10,522	2,366
未払消費税等	12,186	13,897
その他	29,735	24,958
流動負債合計	583,821	542,912
固定負債		
長期末払金	38,555	38,264
受入保証金	130,240	130,240
資産除去債務	6,868	6,877
その他	94	76
固定負債合計	175,758	175,458
負債合計	759,579	718,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	104,614	104,614
利益剰余金	149,536	133,027
自己株式	△25,751	△25,751
株主資本合計	728,400	711,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	212	240
その他の包括利益累計額合計	212	240
純資産合計	728,612	712,132
負債純資産合計	1,488,191	1,430,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	515,850	416,945
売上原価	387,364	293,738
売上総利益	128,486	123,206
販売費及び一般管理費	96,926	105,909
営業利益	31,559	17,296
営業外収益		
受取利息	37	22
為替差益	380	2,231
貸倒引当金戻入額	918	-
保険解約返戻金	1,661	-
その他	148	90
営業外収益合計	3,147	2,345
経常利益	34,707	19,642
特別損失		
固定資産売却損	21	-
店舗閉鎖損失	6,447	-
特別損失合計	6,469	-
税金等調整前四半期純利益	28,238	19,642
法人税、住民税及び事業税	2,399	2,713
法人税等調整額	1,024	-
法人税等合計	3,424	2,713
少数株主損益調整前四半期純利益	24,814	16,929
四半期純利益	24,814	16,929

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	24,814	16,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	28
その他の包括利益合計	19	28
四半期包括利益	24,833	16,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,833	16,957
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	計		
売上高	281,501	197,333	48,697	11,646	539,179	△23,328	515,850
セグメント利益	10,040	74,214	3,470	3,334	91,059	△59,500	31,559

(注) 1. セグメント利益の調整額△59,500千円には、棚卸資産の調整額373千円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△59,873千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経
 費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	計		
売上高	240,140	128,782	52,688	16,695	438,306	△21,361	416,945
セグメント利益	438	65,587	2,760	5,801	74,587	△57,290	17,296

(注) 1. セグメント利益の調整額△57,290千円には、棚卸資産の調整額32千円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△57,323千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費
 であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」としておりました「美容室支援事業」について量的な重要性
 が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当第1四半期連結累計期間の報告セグメント
 の区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。